

音楽芸能スタッフ科 照明コース 2年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	一般教養Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
講義	舞台知識Ⅱ	68	2	4
講義	P C 知識Ⅱ	68	2	4
講義	コンサートスタッフ知識Ⅱ	68	2	4
実習	イクイップメントⅡ	68	2	2
実習	照明Ⅱ	68	2	2
実習	C A D Ⅱ	68	2	2
実習	デザインⅡ	68	2	2
演習	スタッフワーク基礎Ⅱ	68	2	4
演習	スタッフワーク応用Ⅱ	68	2	4
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
合計		888	26	42

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
①学生と社会人の違いを知り、社会人として必要なビジネスの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたりを学ぶ。 ②具体的にはビジネスマナーの基本である第一印象、あいさつ、みだしなみ、態度、ことばづかい、話し方・聞き方、ビジネス文書、来客対応、仕事の進め方、食事のマナー、日本のしきたりまで学習する。 ③就職活動に必要な、自己PR作成や立ち居振舞いを実践し面接試験をクリアできる基本を学ぶ。							
到達目標							
・就職後に役立つビジネスマナーや社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えをもつことができ、組織にとって必要な人材になることができるようになる。 ・対人関係においてコミュニケーションを向上し、円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることができる。 ・ビジネスマナーと接遇の基本の考え方を理解し、体得することによって実務能力を実践的に使えるようになる。就職活動方法及び面接・筆記試験対策を実践形式で行い、就職内定を最終目標とする。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自己紹介:対策と解説
【前期】 4～7回目	マナー基本編の復習と応用編(ステップupマナー)
【前期】 8～10回目	マナーの実技編とアドバイス
【前期】 11～13回目	コミュニケーションの復習(話し方・聞き方・表情・態度)・実技編
【前期】 14～17回目	前期試験:マナー・コミュニケーションのレポート提出と実技の実施
【後期】 18～20回目	就活の為のマナー編(面接時における対応・入室・座・退室)
【後期】 21～24回目	質問に対する返答への対策
【後期】 25～27回目	社会人としての仕事への取り組み方
【後期】 28～30回目	仕事をして行く中で マナー・ルールが相手の立場を考え仕事を円滑に運んだり、トラブルを未然に防いだりする事の必要性
【後期】 31～34回目	後期試験:自己アピール(プレゼン)と好感の持てる社会人とは レポート提出
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	会社のしくみを学び、仕事の基本を知ることとはこれから社会に出るみなさんにとって大きな自信につながります。「企業は人なり」と言われるように社員のちょっとした言葉や行動が会社の印象に関わるからこそビジネスマナーが大切です。あらゆるビジネスシーンで求められる接遇力をしっかり習得します。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	舞台照明技術史		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■ 音楽芸能スタッフ科 照明						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	大手ライブハウスのステージマネージャーを経て、福岡にある自身のイベント会社にてステージマネジメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。						
授業概要							
「現代照明の足跡」を教材として使用しながら、時代の波、変化の渦の中、舞台照明を開拓し、道を切り開いてこられた照明家 遠山静雄氏、小川昇氏、松崎國雄氏、篠木佐夫氏、穴澤喜美男氏、大庭三郎氏、相馬清恒氏という7人の照明家の方々にスポットライトを当て、主に舞台照明における灯体や調光卓などの機材が時代とともにどのような進化を遂げてきたか、会場規模の巨大かによる変化やLEDやDMXなどのデジタル技術の進歩などについて学ぶ。							
到達目標							
・舞台照明の歴史を辿り現代の照明のあり方を考え、理解を深める。							
・舞台照明に関する知識を確認、理解する。							
・エンターテインメントにおける照明の必要性を深く知る。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 昭和初期～後期の仕込図やキューシート、舞台施設解説。
【前期】 4～7回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 遠山静雄氏に関して。
【前期】 8～10回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 小川昇氏に関して。
【前期】 11～13回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 相馬清恒氏に関して。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期授業内容から抜粋して出題 筆記形式の試験を行い、知識が身についているかを問う。
【後期】 18～20回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 松崎國雄氏に関して。
【後期】 21～24回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 篠木佐夫氏に関して。
【後期】 25～27回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 穴澤喜美男氏に関して。
【後期】 28～30回目	現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たちを使用しての講義 大庭三郎氏に関して。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期授業内容より抜粋して出題 筆記形式の試験を行い、知識が身についているかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	日本の舞台照明は1900年頃から「電気」が導入されたことによって大きな変化が始まったのですが、第二次世界大戦前後は日本の舞台照明は現代照明に向け、めざましい発展を遂げました。この講義を通じて、過去と現代の照明に関しての時代の歩みを理解することができます。
備考	教材として「現代照明の足跡 歴史を創った7人の巨匠たち」を使用

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	空間デザイン		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	舞台知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明/ステージ総合				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	音楽系として北九州ロックフェス、8×8 Music Fes.10神アクター、FREAK、などのLIVEを担当、スポーツ系としてB1長崎ヴェルカ、J1V・ファーレン長崎、アビスパ福岡、F1ボルクバレット北九州 Vリーグカノアラウレアーズ福岡などの空間演出を担当、その他にもClubやラウンジ、結婚式場、ホテル等の空間をプロデュース				
授業概要					
海外の動画を見て学び、実際の現場で使えるイメージを身につける。 仕込み図等を見ながら空間をイメージし、照明デザインできるようになる。 照明だけではなく、他のセクションの知識も含めた総合的な空間がイメージができるようになる事を目指す。					
到達目標					
・現場に役立つようなイメージ、アイデアを養えるようになる。 ・照明以外のセクションの知識を得る事により、さらに付加価値がある照明デザインをイメージできるようになる。 ・海外を意識したの照明デザインのイメージができるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎知識① 照明デザインについて
【前期】 4～7回目	基礎知識② レーザー演出(使い方から演出まで)
【前期】 8～10回目	基礎知識③ VJ演出(プロジェクションマッピングも含む)
【前期】 11～13回目	基礎知識④ club系の音楽等
【前期】 14～17回目	基礎知識⑤ファッションショー等の照明デザイン
【後期】 18～20回目	テクニカル基礎①LED映像システム等
【後期】 21～24回目	テクニカル基礎②配信系(撮影系の照明デザイン)
【後期】 25～27回目	総合①空間演出
【後期】 28～30回目	総合②空間演出
【後期】 31～34回目	復習・まとめ
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	みなさんが目指す世界に付加価値をつけていく授業になります。 楽しく最高の空間を創っていただける人材になっていただけるよう全力で組み立てていきます！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識Ⅱ-照明/ステ総		授業形態 / 必選	講義	必須
	学則別表上表記	PC知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明/ステージ総合				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
①Captureの基本操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の製作を行う。 ②実際に様々なイベントの仕込み図を製作し、各シチュエーションにおける製作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。					
到達目標					
・Cuptureの基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成して、仕込み図を完成できるようになる。同時にPCの使用方法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。 ・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	Captureのおさらい
【前期】 4～7回目	ライブ感が出るようなレイアウトを考え作成する
【前期】 8～10回目	CADで作成した図面を元にCapture作成①
【前期】 11～13回目	CADで作成した図面を元にCapture作成②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験を実施。課題を与え、Captureソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	Captureを理解し全ての機能を把握してるか振り返り図面を作成する①
【後期】 21～24回目	Captureを理解し全ての機能を把握してるか振り返り図面を作成する②
【後期】 25～27回目	好きなライブ映像を参考にしてCaptureで再現してみる①
【後期】 28～30回目	好きなライブ映像を参考にしてCaptureで再現してみる②
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を与え、Captureソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分で照明図面を作成して、仕込み図面の見方を把握して現場でも役立てよう。図面は命。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。株式会社LILEON代表取締役。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし照明知識に関する 講義を行う。				
授業概要					
①照明に関する専門用語、舞台構造及び会場設備や光や色の特性などに関する応用知識を学ぶ。 ②ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につける。					
到達目標					
・現場での作業を想定した講義を行う。 ・オペレートの授業と連動した講義をしつつ1年次から更にプロとして通用する技術へと落とし込む。 ・目標として照明企業から即戦力として評価されるような人材育成を目指し、知識だけでなく、現場での動き方やコミュニケーション能力の必要性を理解する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	一般照明の使い方名称の説明
【前期】 4～7回目	ムービング、LED等の名称使い方の説明
【前期】 8～10回目	実際の現場の仕込み図を用いて説明①
【前期】 11～13回目	実際の現場の仕込み図を用いての説明②
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	総合的な照明知識取り入れての現場シュミレーションを行う
【後期】 21～24回目	ライブ映像を鑑賞しながら照明知識を取り入れる
【後期】 25～27回目	CADで作成した照明図面と合わせて灯具の確認、どのような効果が出せるかを考える
【後期】 28～30回目	試験対策 授業内容の確認。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	現場での作業を想定した講義を行います。目標として照明会社から即戦力として評価されるような人材育成を目指し学習を進めます。
備考	講師作成のプリント資料を授業毎に配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明システムⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	イクイップメントⅡ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	大手ライブハウスのステージマネージャーを経て、福岡にある自身のイベント会社にてステージマネージメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。また、照明エンジニアの経験も活かしたアプローチを得意とする。						
授業概要							
①電源ユニット、調光卓、灯体やその他周辺機器の安全かつ正しい取り扱い方法を学ぶ。 ②総合的に照明のシステム構造を深く理解する事で、高度なオペレート技術の向上にも反映していく。							
到達目標							
照明操作卓から灯具への信号を確認し、灯具の動作確認・点灯確認までできること。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ホールの照明システムを確認 ステージライティング①
【前期】 4～7回目	ホールの照明システムを確認 ステージライティング②
【前期】 8～10回目	ホールの照明システム全変更 シュート作業①
【前期】 11～13回目	ホールの照明システム全変更 シュート作業②
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	照明デジタルコンソールのオペレートについて①
【後期】 21～24回目	照明デジタルコンソールのオペレートについて②
【後期】 25～27回目	照明デジタルコンソールのオペレートについて③
【後期】 28～30回目	総復習。1年次からの照明知識及び照明スキルの確認。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明システムをしっかりと理解して仕込みからトラブル対応まで照明の基礎を身につけていきましょう
備考	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明オペレートⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	照明Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。株式会社LILEON代表取締役。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし電気と舞台全般における講義を行う。					
授業概要						
①電源の入れ方やパッチの手順などの基本操作、並びにチェイスやストロボなど様々な機能を学び、メインコンソールのオペレート技術を身につける。 ②ピンスポットオペレーターやムービングスポットオペレーターとしての技術も同時に学んでいく。 ③最新式の照明コントローラを使用してムービングライトを含めた様々な照明機材の操作方法のレクチャー、ピンスポットの操作方法を繰り返し訓練する。						
到達目標						
・学内の授業だけではなく、学外のコンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きや舞台構造を説明して、より照明スタッフとしての幅広い知識を習得する。 ・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具現化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	楽曲を理解しCUEを作成し灯りを作る①
【前期】 4～7回目	楽曲を理解しCUEを作成し灯りを作る②
【前期】 8～10回目	あらゆる照明オーダーに対応できるよう照明卓操作を極める
【前期】 11～13回目	LIVE WEEKに向けて楽曲の理解、プランニング、打ち込み
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 18～20回目	あらゆるジャンルの楽曲の灯りを作る①
【後期】 21～24回目	あらゆるジャンルの楽曲の灯りを作る②
【後期】 25～27回目	LIVE WEEKに向けて楽曲の理解、プランニング、打ち込み
【後期】 28～30回目	好きな楽曲の照明を好きのように作ってみよう
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験を実施。課題を設定して、指示通りに照明コンソールを操作できるかの確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	CADオペレートⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	CADⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。株式会社LILEON代表取締役。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かしCADオペレートの実技を行う。				
授業概要					
①CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の製作を行う。 ②実際に様々なイベントの仕込み図を製作し、各シチュエーションにおける製作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。					
到達目標					
・CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成して、仕込み図を完成できるようになる。 同時にPCの使用方法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。 ・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1年次に習得したCAD知識のおさらい
【前期】 4～7回目	オリジナルシンボルの作成、グループ化、レイヤー分け等の説明
【前期】 8～10回目	実際の現場での図面書き写し及び説明①
【前期】 11～13回目	実際の現場での図面書き写し及び説明②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	図面作成、図面取り込み、図面書き出しのおさらい①
【後期】 21～24回目	図面作成、図面取り込み、図面書き出しのおさらい②
【後期】 25～27回目	いろいろなホールの舞台図面を元に会場図面を作成
【後期】 28～30回目	いろいろなホールの舞台図面を元に会場図面を作成し照明図面を作成する
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分で照明図面を作成して、仕込み図面の見方を把握して現場でも役立てる。図面は命。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	色彩デザインⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	デザインⅡ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	大手ライブハウスのステージマネージャーを経て、福岡にある自身のイベント会社にてステージマネージメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。また、照明エンジニアの経験も活かしたアプローチを得意とする。						
授業概要							
配色の専門的な考え方や色彩の心理的効果などを学び、照明として必要な色彩に関する応用的な知識を身につける。							
到達目標							
・カリキュラム終了時には色彩デザインの専門的なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るような応用的なデザイン能力、操作能力を習得する。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	カラーフィルターの復習(色見本を再確認しながら)①
【前期】 4～7回目	カラーフィルターの発展&作業① 就職をふまえた発展学習
【前期】 8～10回目	カラーフィルターの発展&作業②□
【前期】 11～13回目	実際の機材でのカラーフィルターの活用 ①
【前期】 14～17回目	■前期試験:現場での作業手順を質問化して筆記試験。
【後期】 18～20回目	定番機材と新機材の色表現の違いについて①
【後期】 21～24回目	定番機材と新機材の色表現の違いについて②
【後期】 25～27回目	CMYカラーの理論からCMYを意識しない発展した色理解
【後期】 28～30回目	現場に出るにあたっての最終確認&現場を想定した質疑。□
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	色の意味や印象を理解することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択					
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅱ	年次	2年次						
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位					
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明									
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレーターを担当。 現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。									
授業概要										
他セクションのスタッフと連携し、仕込みから本番まで実践的なライブ、スタッフとして必要な実技能力を養う。 トラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。										
到達目標										
他セクションのスタッフと連携し、仕込みから本番まで実践的なライブ、スタッフとして必要な実技能力を養う。 トラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。										

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1年次の復習/基本の明かりの当て方、合わせ方・卓の操作方法など
【前期】 4～7回目	ピンスポット/復習、キュー出し、オペレーターとの連携
【前期】 8～10回目	他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。 ピンスポットの実戦
【前期】 11～13回目	前期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【前期】 14～17回目	■前期試験: 実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う
【後期】 18～20回目	ピンスポット/いろいろな楽曲を使ってオペレーターとの連携の反復練習
【後期】 21～24回目	他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。 後期LIVE WEEKを想定したピンスポットの連携
【後期】 25～27回目	後期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【後期】 28～30回目	FINAL WEEKに向けた準備/プランニング、打ち込み ピンスポットの反復練習
【後期】 31～34回目	■後期試験: 実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	本番を想定した照明技術を身につけれるよう、たくさん練習しましょう！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択					
	学則別表上表記	スタッフワーク応用Ⅱ	年次	2年次						
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位					
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明									
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレーターを担当。 現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。									
授業概要										
他セクションのスタッフと連携し、仕込みから本番まで実践的なライブ、スタッフとして必要な実技能力を養う。 トラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。										
到達目標										
他セクションのスタッフと連携し、仕込みから本番まで実践的なライブ、スタッフとして必要な実技能力を養う。 トラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。										

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1年次の復習/基本の明かりの当て方、合わせ方・卓の操作方法など
【前期】 4～7回目	ピンスポット/復習、キュー出し、オペレーターとの連携
【前期】 8～10回目	他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。 ピンスポットの実戦
【前期】 11～13回目	前期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【前期】 14～17回目	■前期試験: 実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う
【後期】 18～20回目	ピンスポット/いろいろな楽曲を使ってオペレーターとの連携の反復練習
【後期】 21～24回目	他学科との合同授業における仕込み・リハーサル・本番・バラシ。 後期LIVE WEEKを想定したピンスポットの連携
【後期】 25～27回目	後期LIVE WEEKにおける必要なものを検討・準備する(仕込み図、照明演出 打ち込み作業) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシ。
【後期】 28～30回目	FINAL WEEKに向けた準備/プランニング、打ち込み ピンスポットの反復練習
【後期】 31～34回目	■後期試験: 実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	本番を想定した照明技術を身につけれるよう、たくさん練習しましょう！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴						
授業概要						
著作物の定義や著作権者の権利及び著作権隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。						
到達目標						
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解する 著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作権隣接権の内容について理解する ① 著作権隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～18回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 19～21回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ 【作文作成&提出】
【後期】 22～25回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リクープラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 26～28回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 29～31回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 32～36回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。